

ねずみます だより

No. 14

ごあいさつ

勝愛幼稚園の歯科健診を担当させて頂いておりますかとう歯科です。

歯科健診では虫歯、歯並び、かみ合わせ、あごの関節、舌、歯茎その他の口の中の病気などを見ています。

今回歯並び、咬み合わせについてお話しします。

歯並び、 咬み合わせ の治療



歯ならび、咬み合わせの治療を矯正治療といいます。矯正治療は上下の顎の前歯4本が永久歯になり上下左右の第一大臼歯(6歳臼歯)が生えてきたときに歯ならび、咬み合わせの異常が診断でき、かなりの確率で将来の歯ならび、咬み合わせの予測ができます。この永久歯が生えそろう前の早期治療をⅠ期治療と呼びます。このときの治療は歯ならびを整えるとともに咬み合わせを整えることが重要になります。永久歯にすべて生え変わると本格的に咬み合わせを整えるために永久歯1本1本の歯を動かしていきます。これをⅡ期治療と呼びます。大人の永久歯の歯ならび、咬み合わせを治療するときはこのⅡ期治療だけを行うことになります。

小児期 からの治療



歯は上下のあごの骨の上に乗っています。あごの骨が小さかったりゆがんでいたりすると上顎前突、下顎前突など咬み合わせに大きな問題が出てきます。そして、小児期からの治療は成長を利用する事が最大のメリットです。土台となる骨を正常な状態にすることにより咬み合わせの治療を行うことがⅠ期治療の目的となります。逆に放置しておくと、成長があるために異常がありますひどくなることもあります。また、この時期にはあごの骨を大きくしたり、位置を変えたりするすることができます。これらの治療はこの時期にしかできない治療です。

幼児の治療 について



本格的な矯正治療の前の幼稚園児での歯ならび、咬み合わせの治療の目的は口の中の環境を整えて、あごの骨、歯列の成長を正常な状態にすることが一番大切なことです。口の中の環境に悪影響を与えるものに呼吸、嚥下、舌癖などの機能的問題といわれるものがあります。矯正治療の最初に考慮されることもこれらのことです。具体的には、この頃「お口ばかん」と言われる口呼吸、これは多くは癖というより鼻づまり、扁桃腺、アデノイドなどの鼻咽頭の病気や気道の障害が原因となることが多いと考えられます。これらることは姿勢にも影響を及ぼしています。姿勢は下あごの位置を決めます。また、舌の大きさや動く範囲や位置の問題は、上下のあごの大きさや位置に影響があります。飲み込む時の状態にも影響を与えます。また、3歳を越えてまだ続く指しゃぶりや爪咬みや咬み締めの癖も大きい影響を与えます。これらの機能的問題を予防したり改善させることがこの時期で一番大切なことです。

乳歯の正常な咬み合わせの条件

歯列弓形態が半円形・橍円形で、ほぼ左右対称である

前歯部、臼歯部に上下顎歯列の交叉がない

乳歯の前歯の重なりが、下の前歯の歯の長さの2/3までである

乳歯の前歯の出ているのが、下の前歯の先から3mm以内である

上下の前歯の真ん中のずれが1mm以内である



幼稚園児の歯並びについて

幼稚園での健診は日本学校歯科医会の基準に沿っています。しかし、この基準では、かなりひどい異常のみしか指摘できません。下の写真は日本小児歯科学会による基準です。できればかかりつけの歯科を持って虫歯の予防と同時に咬み合わせも定期的に見てもらってください。

乳歯の咬み合わせの異常

反対咬合

前歯部の
3歯以上の
逆の咬み合わせ



上顎前突

乳歯の前歯の
出ているのが、
下の前歯の先から
4mm以上である



過蓋咬合

乳歯の前歯の
重なりが、
4mm以上である



開口

乳歯の前歯に
隙間が
わずかでもある



叢生

隣同士の歯が少しでも
重なり合っている



交叉咬合

奥歯の
咬み合わせが
逆になっている



治療について

幼稚園児の咬み合わせの異常の治療や予防は、生活習慣の改善だと考えられます。たとえば、ゲームなどが過度に行われると姿勢が悪くなり、このことが呼吸に影響を及ぼすことは十分に考えられます。やはり幼稚園児はみんなとよく遊びつまり良く体を動かし、加工品でなく自然に近い咬み応えのあるものを食べ、みんなとよくしゃべり、笑ったり泣いたりすることをいっぱいすることが一番大切なと考えます。

その上でこれらの咬み合わせの異常がこのまま残らないようにやはり歯科的治療は積極的に行ったほうが良いと考えます。具体的にはプレオルソ、ムーシールド、T4Kなどの口腔内に入るマウスピース型の装置が開発されています。これらの装置がちゃんと入れられるには3歳くらいからはじめことが多いですが、夜入れて寝ることができているならちゃんとそれなりの効果が出てきます。これだけで全て治療できるわけではありませんが、かみ合わせを整える目的としては非常に有益であると考えられます。



どうもありがとうございました